

季節予報文の表現の変更について

季節予報では、1か月、3か月、暖・寒候期の平均的な気温、降水量などを「高い(多い)」、「平年並」、「低い(少ない)」の3階級に分けて、それぞれの階級になる確率を予報しています。予報文には、この確率予報に加えて、予報期間内の天候の特徴および、確率の最も大きい「階級(2つの階級のこともあります)」を平文で記述しています。

この平文形式は平成14年から実施しておりますが、「階級」だけを記述し確率値を明示していなかったことから、確率予報である季節予報が断定的な予報であるかのような誤解を生じることがありました。

そこで、季節予報を確率予報として正しく利用いただくため、下記のとおり平文に特徴のある階級とその確率値を記述することにいたします。

なお、変更は平文の表現のみで、3階級の確率予報表現の変更はありません。

記

1. 変更時期

平成18年9月25日以降に発表する全ての季節予報から。

2. 表現方法

- ・ 確率50%以上の階級があるときは、階級と確率値を記述します。
【例】気温の3階級の確率が低い20%、平年並30%、高い50%の場合
現在の表現： 気温は高いでしょう。
新しい表現： **気温は高い確率50%です。**
- ・ 「平年並」と「高い(多い)」確率、または、「平年並」と「低い(少ない)」確率がともに40%のときは、2つの階級とその確率値を記述します。
【例】気温の3階級の確率が低い20%、平年並40%、高い40%の場合
現在の表現： 気温は平年並か高いでしょう。
新しい表現： **気温は平年並または高い確率ともに40%です。**
- ・ 3階級の確率に目立った特徴がない(「平年並」の確率40%で「高い」と「低い」確率ともに30%など)とき、3階級の全ての確率値が等しい(3階級ともに33%)ときは、**記述しません。**
現在の表現： 気温は平年並でしょう。

3階級確率と予報文表現の対照例、新しい予報文例は別紙のとおりです。

本件連絡先：地球環境・海洋部気候情報課
03-3212-8341(内線3154)

3階級確率と予報文表現の対照例

3階級確率例 低い:平年並:高い または 少ない:平年並:多い	予報文における表現	
	気温	降水量、日照時間、降雪量
20:20:60	高い確率 60%	多い確率 60%
20:30:50	高い確率 50%	多い確率 50%
20:40:40	平年並または高い確率ともに 40%	平年並または多い確率ともに 40%
60:20:20	低い確率 60%	少ない確率 60%
50:30:20	低い確率 50%	少ない確率 50%
40:40:20	平年並または低い確率ともに 40%	平年並または少ない確率とも に40%
20:60:20	平年並の確率 60%	平年並の確率 60%
20:50:30	平年並の確率 50%	平年並の確率 50%
30:30:40 30:40:30 33:33:33	記述しない	記述しない

全般 3 か月予報

(7 月から 9 月までの天候見通し)

平成 × × 年 6 月 2 2 日
気象庁 地球環境・海洋部発表

(下線部が表現変更箇所)

< 予想される向こう 3 か月の天候 >

向こう 3 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は東日本、西日本では平年並または高い確率ともに 4 0 %です。南西諸島では高い確率 5 0 %です。

7 月 天気は北日本で平年に比べ曇りや雨の日が多く、東日本と西日本で月の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く後半は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。南西諸島では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は東日本、西日本、南西諸島では、平年並または高い確率ともに 4 0 %です。降水量は北日本では平年並または多い確率ともに 4 0 %です。

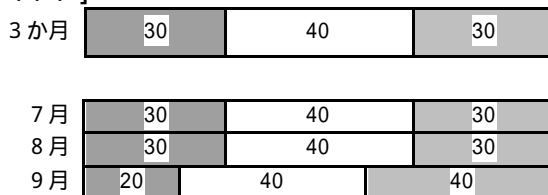
8 月 天気は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は南西諸島では、平年並または高い確率ともに 4 0 %です。

9 月 天気は北日本と東日本、西日本で数日の周期で変わり、南西諸島では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は全国的に平年並または高い確率ともに 4 0 %です。

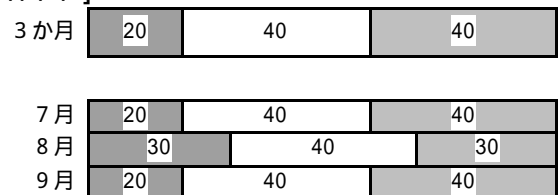
< 向こう 3 か月の気温、降水量の各階級の確率 (%) >

<< 気温 >>

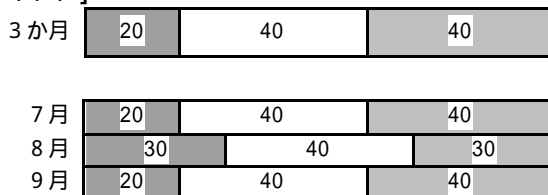
[北日本]



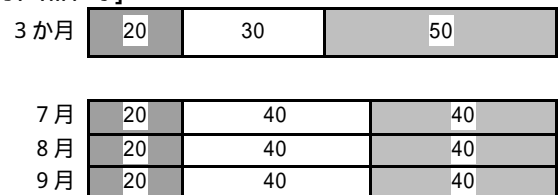
[西日本]



[東日本]



[南西諸島]



低い
 平年並
 高い

<< 降水量 >>

[北日本日本海側]

3か月	30	40	30
7月	20	40	40
8月	30	40	30
9月	30	40	30

[西日本日本海側]

3か月	30	40	30
7月	30	40	30
8月	30	40	30
9月	30	40	30

[北日本太平洋側]

3か月	30	40	30
7月	20	40	40
8月	30	40	30
9月	30	40	30

[西日本太平洋側]

3か月	30	40	30
7月	30	40	30
8月	30	40	30
9月	30	40	30

[東日本日本海側]

3か月	30	40	30
7月	30	40	30
8月	30	40	30
9月	30	40	30

[南西諸島]

3か月	30	40	30
7月	30	40	30
8月	30	40	30
9月	30	40	30

[東日本太平洋側]

3か月	30	40	30
7月	30	40	30
8月	30	40	30
9月	30	40	30

少ない
 平年並
 多い

関東甲信地方 3か月予報

(7月から9月までの天候見通し)

平成××年6月22日
 気象庁 地球環境・海洋部発表

(下線部が表現変更箇所)

< 予想される向こう3か月の天候 >

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は平年並または高い確率ともに40%です。

7月 天気は月の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、後半は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は平年並または高い確率ともに40%です。

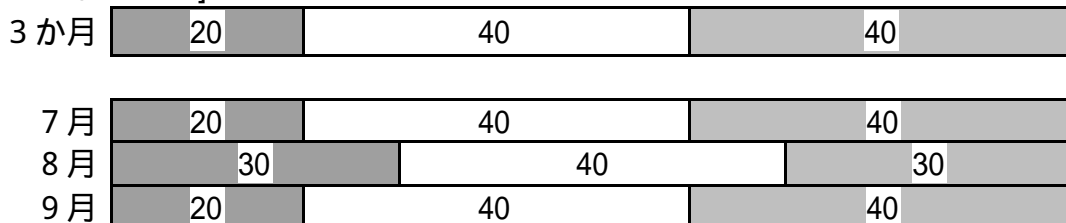
8月 天気は平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

9月 天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は平年並または高い確率ともに40%です。

< 向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%) >

<< 気温 >>

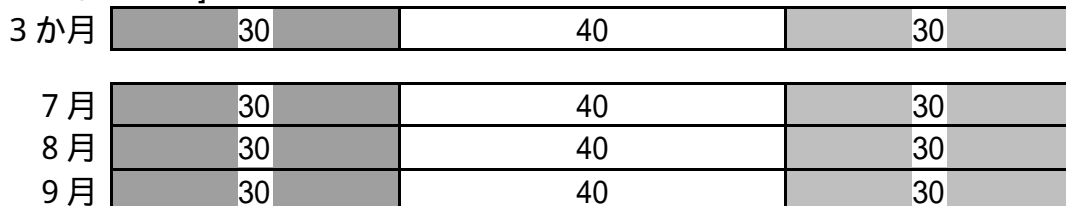
[関東甲信地方]



■ 低い □ 平年並 ■ 高い

<< 降水量 >>

[関東甲信地方]



■ 少ない □ 平年並 ■ 多い